

元気企業  
訪問

柴田加工

## メーカーと二人三脚で 仕上げた機械 加工技術を磨き 存在価値を高める

### 独自の機械を所有する強み

多可町の山あいにある同社の工場には9台の射出成形機がずらりと並んでいます。樹脂のペレットを高温で溶かし、金型に流し込んで樹脂成形品を作る機械は、全て明石市にある東洋機械金属(株)製です。「大学卒業後、父から『勉強してこい』と言われて3年間勤務したのが東洋機械金属でした。古い機械であれば自分でメンテナンスもできます」と柴田明伸代表は40年前に導入した機械を指差します。

同社では、東洋機械金属から汎用の機械をそのままではなく、加工不良を少なくするための工夫を取り入れた設備を独自に据え付けるなどオーダーメイド仕様にして導入しています。「たまたま設計部長が私と同期で気安く何でも言い合える関係であることから、いろいろと注文を付けさせてもらっています。逆に、新たに開発した機械を当社で試しに使ってみて出てきた課題を改良に生かしてもらったり、さまざまな加工のデータを取って提供し機械の販売に役立ててもらったりもしています」

例えば、脱気装置もその一つです。樹脂ペレットを高熱で溶かす際、溶けた樹脂に酸素が入り込んでしまうと出来上がった成形品が不良を起こす原

因になります。そこで樹脂ペレットを溶融部に送り込む時は真空状態にして酸素を発生させないようにしています。「他社にはない独自の射出成形機を持っていることが強みになっています」と話します。

また、「加工の工程でも、よそがやりたがらないひと手間を掛けられるところが当社の強みと言えます」。三木や小野の金物メーカーからの依頼で製作しているのこぎりの持ち手部分の加工は、刃物と接合する金属部分をあらかじめ金型に据え付けてから樹脂を流し込むインサート成形という手法を使っています。こうした手間をいとわない姿勢も取引先から重宝がられる理由で、工具やプランターのほか、船用エンジンコントローラーのケースなど多様な樹脂製品の加工を請け負っています。

### 制度活用で与信枠を確保

射出成形機の導入には、30年以上前からひょうご産業活性化センターの設備貸与制度を活用してきました。同制度を使い続けていることについて柴田代表は幾つかのメリットを挙げます。「まずは民間のリース会社より低利



金物の高品質に同社の加工技術が一役買っています

です。信頼できる担当者が電話一本で話をつけていただけることもありがたい」と言います。近年は金融機関から借り入れる際の金利も低くなっていますが、「先代から万一の時のために金融機関の融資枠は確保しておくことの重要性を教わり、それも制度を利用し続ける理由の一つです」と語ります。

2008年のリーマン・ショック時には仕事量が3分の1まで落ち込んだ間、金融機関からの借り入れで従業員の給料を支払い、危機をしのぎました。コロナ禍により昨年4、5月に売り上げが

一時的に落ち込んだ際にも手元資金を潤沢にしておくために銀行から融資を受け、リスクに備えることができたそうです。

直近の売り上げは金物向け樹脂部品などが巣ごもり需要の恩恵を受け、コロナ禍以降、ピークを更新しているとのこと。「仕事量はあっても人手が追

いついていないのが現状。人材の確保に力を入れていくとともに、機械の自動化投資も積極的に進めていきたい」と、近く新たな投資も考えています。

会社概要  
柴田加工

所在地 多可町中区牧野798-2  
代表 柴田明伸

事業内容 樹脂成形加工  
TEL 0795-32-3436

## 支援メニュー講座

## 設備貸与制度

# 設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

### 制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業に代わって当センターが設備を購入し、中小企業に長期（10年以内）かつ固定損料（年率0.70%～1.95%）で割賦販売またはリースするものです。2016年度から10%の保証金が原則不要となりました。

### メリット

最大のメリットは、金融機関の借入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず当センターは、曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営・技術・情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-977-9086

伝えたい思い出を  
最高のカタチに

写真集・詩集・自費出版のお問い合わせは

神戸新聞総合印刷 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7  
神戸新聞総合出版センター TEL 078(362)7143  
http://www.kobepn-printing.co.jp/